

HPPE管施工時『溶剤浸透防止スリーブ』『ロケーティングワイヤ』の注意点

<溶剤浸透防止スリーブ>

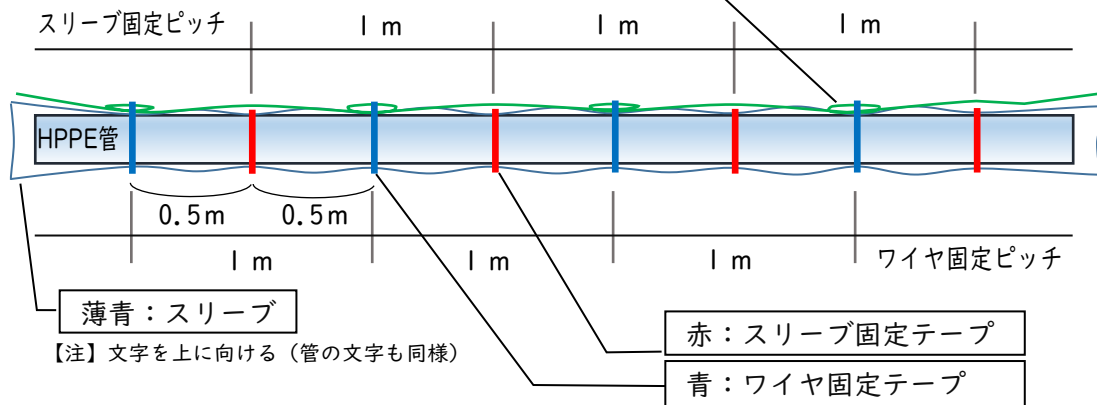
1. スリーブの被覆は、管の外面にきっちりと巻き付けて余分なスリーブを折りたたみ、管頂部に重ね部分がくるようにすること。（かつ、文字が上から見えるようにする）
2. 管継手部の施工は、凹凸にスリーブがなじむように十分たるませて施工すること。
3. 管軸方向のスリーブの継目部分は、確実に重ね合わせる。
4. スリーブの固定は、1 m毎にテープ又は固定用バンドを用いて行うこと。
5. 既設管、バルブ、分岐部等はスリーブを切り開いて、シート状にして施工すること。

<ロケーティングワイヤ>

1. 管に沿わせて余裕をもたせるために 1 m毎に輪を作り、テープ等で固定すること。
（スリーブ固定とは 0.5m 間隔を空ける）
2. 第1止水栓までワイヤーを配線すること。ワイヤーは、引き出せるように余長を持たせ、先端部は防食テープ等で確実に防食処理すること。
3. 本管のワイヤーと接続する際は、圧着コネクター等を使用すること。
ただし、それにより難しい場合は、監督職員と協議のうえ施工すること。
4. ワイヤーは、異種金属接触によるマクロセル腐食を起こす恐れがあるため、鋼管または 鋳鉄管と接続してはならない。

緑：ロケーティングワイヤ

【注】①スリーブ施工後、外側にワイヤを施工 ②1m 毎に輪をつくる



図．溶剤浸透防止スリーブとロケーティングワイヤの施工状態